

団体名	山形大学						
事業名	山形の伝統工芸と地域活性の取組を学ぶ						
実施期間	令和2年9月10日～11日						
場 所	山形県山形市、天童市、長井市						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	24			10	6		40名

### <実施内容>

2020年9月10日(木)・11日(金)山形大学工学部の外国人留学生が県内の伝統工芸と地域活性の取り組みを学ぶため、山形市、天童市、長井市の県内3市を訪れました。

今回、伝統工芸に関しては、山形鑄物(山形市)、将棋の駒(天童市)、けん玉(長井市)について知識を深めました。山形鑄物工場訪問では、山形鑄物独特の「薄肉で繊細、美しい鑄肌」に仕上げるための工程を順に見学しました。品質の良さから、フランスや中国からも注文があり、世界に向けても展開していることを学びました。社長さんからは、伝統を守りつつ、新しい取り組みへ積極的に挑戦していく必要性と製品への誇りが熱く語られました。2つ目の将棋駒については、将棋資料館を見学し、将棋駒の生産が天童で盛んな理由、その歴史やルーツ等について説明を受けました。また、実際に駒に文字を入れる実演も見ることができました。3つ目のけん玉については、子どものおもちゃという位置づけから、スポーツ競技あるいは健康増進の運動用具としての新たな価値を見出し、普及に努めている様子を知ることができました。

地域活性と交流に関しては、天童市の将棋を通じたプロジェクト「コマノミクス」の取り組みについて話を聞きました。講義後は、より将棋を手軽に楽しむためにプロジェクトで開発された「66将棋」について、開発した講師から開発の経緯やルールを学び、実際に講師の方々から指導を受けながら、対局を楽しみました。また、同市は温泉町で有名ですが、ここ数年の観光客減少の問題を解決すべく、温泉街に屋台村「と横丁」を作ることを見出し、政府の支援を活用しながら、街づくりの活性化に努めている方の講演を聞きました。さらに、けん玉を作る長井市の山形工房では、安価な海外の商品と競争するための戦略や他業種とのコラボレーション、自然豊かな地方の一企業として世界を相手に会社を経営する企業理念など幅広い内容となりました。山形の魅力的な生産物や、山形から世界へとビジネスを展開するエネルギッシュな人々に触れ合うことができた充実した2日間となりました。

### <記録写真>



コマノミクス事業「66将棋」を体験



天童温泉屋台村「と横丁」にて



けん玉を通じた海外戦略についての講演

### <参加者からのコメント>

リン ウェイ チン デービッドさん(カナダ)  
/LIN, WEI TING DAVID

Going into this trip I didn't really know what I was expecting. Travelling around the prefecture, seeing local arts and crafts; I would have been satisfied with a change of pace from work. What surprised me was both the breadth and depth of the topics introduced through the course of this excursion. Not only did we learn about and experience the traditional crafts of Yamagata: metal-working, shougi pieces, etc., but also how these traditions shape the community today. We got to hear from local business leaders about how their work contributes to the community, and how it connects the people and culture of Yamagata to other prefectures and other countries. Through this trip I ended up learning a lot and connected with many people I would not have otherwise. All-in-all, it was a worthwhile experience, and one I'll remember for the future to come.

何 佳琦さん(中国)/HE JIAQI

今回の研修旅行では、初めて将棋やけん玉など日本の文化を象徴するものを自分で体験して、楽しかった。講義でただ話を聞くだけではなく、講師とコミュニケーションをとったりして、色々な企業が地方と海外と繋がる方法が分かった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために、皆さんマスクをして少し距離感があるが、全員が工学を専攻しているので話しかけやすくて良かったと思う。今回は沢山の事を学んで、とてもいい経験ができた。